

ボーカルとのDuoでの演奏の流れ

- ・ ボーカリストテンポだし
- ・ イントロ
- ・ 伴奏(テーマ)
- ・ ギターソロ(何コーラスか決めていないが1～2コーラスが多い)
- ・ 伴奏(テーマ)
- ・ エンディング

主にこの流れが主流になっています。

イントロについて

歌伴のイントロに必要な要素

- ・ Keyがわかること(出始めの音を取りやすいか)
- ・ テンポがわかる事(1番重要)
- ・ リズムスタイル(スイングなのか、ボサなのか等のスタイル)
- ・ 歌の入るタイミング(セッションでは必要なスキル)
- ・ 雰囲気作り(主にライブで意識することが多い)

イントロのコード進行

- ①曲の最後の8小節を使用する
- ②定番パターン(1,6,2,5等)
- ③曲特有の定番パターン
- ④自由な発想で演奏する

エンディングについて

スイングの曲では最後の4小節を2,3回繰り返すパターンが多い。

コード進行について

元々の進行が II m7 – V7 – I M7 – I M7 となっている場合最後のIM7をVI7に変更する

逆順

よく使われる定番の進行です。よく最後は逆順でお願いしますとか言われます。経験上半分以上はこの逆順に行くことが多いです。

・コード進行

II m7 – V7 – I M7 – I M7 この進行を

II m7 – V7 – III m7 – VI 7

のコード進行に変更します。

その他、曲特有のエンディングがある場合もあるのでそういう曲はその都度覚えていきましょう。

音数について

ギターで伴奏する際に弦をたくさん使用したコードも豪華でいいのですが、実際にはあまり必要ではないことが多いです。

難しいですが、重要なのはギターの特性を活かして空間を活かし、少ない音数で必要な音を弾くことです。

ルートすら省く事も珍しくないです。

(例)

3,7のガイドトーン中心

ベースライン中心

単音中心で遊んでみる

休符を生かす

バースについて

本編の歌の前に歌われる前歌の部分です。

ミュージカルでは本編の歌の前に今の状況を説明する語りのような前歌がついています。

インストではあまりやらないのですが、歌物の場合この部分から好んで歌う人も多いです。

曲にもよりますが、ルバート(テンポなし)で演奏することが多いです。

実際に経験を重ねて歌に寄り添うように伴奏します。

しかし一人では練習しずらくボーカリストによって歌い方が違うのでかなりの慣れが必要になってきます。

歌伴するときのポイント

歌伴に限ったことではないですが大事なポイントです

- ・無理のないフレーズ、コードを使う
- ・リズムに注意する。拍がおかしくならない事(テンポが少し動くのは問題ない)
- ・極論リズムさえ守れていたら細かいことは大きな問題にはならない
- ・初めて共演するミュージシャンには極力わかりやすくする(ケースバイケースですが。。)